

# 警城時報

行發日七  
編輯兼發行 岡田 成  
印刷所 警城時報社  
一都金五錢 一月金廿五  
廣告料 一行十四字 五十錢  
日刊(日曜除日) 翌日休刊



## 七千名の調印を集め 活潑な陳情戦で行く 平小鐵道問題運動方針決る

平小鐵道片濱經由實現期成同盟會の結成式を擧げて、新春早々平小鐵道線運動の火蓋を切つた片濱關係町村では、結成式當り午後五時から江名町協同漁業組合事務所樓上に最初の役員會を開き今後の運動方針に關し協力を謀る結果、

召集中の貴賓兩院へ二通の請願書提出、鐵道大臣及本縣知事の運動方針を講ずることになり、片濱經由實現のつた

陳情書二通提出、十五日頃まて木戸内相宛陳情書を以て文案を作製し各關係町村提出した民七千余名の調印を求めて關係方面へ陳情運動を開始することに決定

平小鐵道片濱經由實現期成同盟會の結成式を擧げて、新春早々平小鐵道線運動の火蓋を切つた片濱關係町村では、結成式當り午後五時から江名町協同漁業組合事務所樓上に最初の役員會を開き今後の運動方針に關し協力を謀る結果、

## 独自の運動開始 平市有力者間の計畫進む

別項、平小鐵道線問題で片濱に類々計畫が進められ、近く鐵道關係町村は遂に運動の烽火を擧げたが、平市當局は市會の所謂「白紙還元運動」に拘束され、

市會の決議と別個に「市民自ら運動を起すべきである」との與國庫負擔金を昭和十三年度より五ヶ年間の期限付きで減額交付することを決定し、これを従前通り山から高橋局長も來平、煙草耕九時から第四小學校で平、好開の煙草耕作希望者を集め講演會を開催する

市會の決議と別個に「市民自ら運動を起すべきである」との與國庫負擔金を昭和十三年度より五ヶ年間の期限付きで減額交付することを決定し、これを従前通り山から高橋局長も來平、煙草耕九時から第四小學校で平、好開の煙草耕作希望者を集め講演會を開催する

市會の決議と別個に「市民自ら運動を起すべきである」との與國庫負擔金を昭和十三年度より五ヶ年間の期限付きで減額交付することを決定し、これを従前通り山から高橋局長も來平、煙草耕九時から第四小學校で平、好開の煙草耕作希望者を集め講演會を開催する

## 濱三郡の葉煙草 愈々來月から耕作

濱三郡の葉煙草の耕作は、本年より漸次開始され、來月より本格的な耕作が始まる。濱三郡の葉煙草の耕作は、本年より漸次開始され、來月より本格的な耕作が始まる。

濱三郡の葉煙草の耕作は、本年より漸次開始され、來月より本格的な耕作が始まる。濱三郡の葉煙草の耕作は、本年より漸次開始され、來月より本格的な耕作が始まる。

## 戦捷書初展

本市内の各小學校では戦捷書展の二日全校児童に書初めを行はしめたが、各校それぞれ十日から三日間展覧會を開く

## 青訓査閲執行

青年學校の初訓練は七日午前九時から第一校庭で行つたが、二十二日査閲を執行することに決定

## 傷病兵慰問團

市議第一班出發の海軍志願兵第二回訓練教育は、十日午後一時から市會議事堂で執行された

## 勇士に慰問袋を

市内各團體から勇士に慰問袋を送ることに決つた

## 末廣女將獻金

市内町料亭末廣女將比佐年子さんは年始の手配に忙しむる中、二十回を國防費に七日市役所へ寄託した

## 繩なひ獻金

高久國婦分會で高久村國防婦人分會馬場班では、

## 演藝慰問旅日記(二)

十二月十九日 午前九時小雨降る中を上海を後に南京に向ふ、汽車は南京行急行、相變らず十五名の兵隊さんに護られて途中、無錫、常州、丹陽鎮江の戦跡を見ながら進んでいく

## 家畜飼料講習會

斯界の權威西氏を招き十四、五日平陽校で開催

本縣主催の家畜飼料講習會は來る十四、十五日市平陽女學校で開催、講師は

農林省畜産局技術師近藤次郎氏、農畜試験場技術師角田英二、東京帝大農學部教授農學博士田中丑雄、盛岡高等農林學校

教授農學博士岩田久敬、家畜飼料研究の權威者である、當日は濱三郡各町村長會、産組、技術員、青年學校職員を始め一般聴講者百余名に上る見込み

## 愛谷江開鑿の恩人

水守氏墓前祭 けふ鎌田町主催で執行

小川江筋の開鑿者澤村勝爲の遺業を繼いで愛谷江筋を開鑿したと傳へられる三森(又は水守)治右衛門の墓前祭は市内鎌田町主催で七日午前九時から平陽橋の墓所で行つた

## 青沼市長静養

市長は二日以來大野村白岩温泉に静養中であるが、八日歸平、九日から登壇の予定

## 四方散

飲んで腫物の妙薬 水野藥局 平市・電六九九

## 天氣豫報

今晩は西の風晴一時曇明日は北西の風時雨模様

## 四家伍長村葬

豊間村出身故工兵伍長四家信太郎君の村葬は七日正午から同村小學校講堂で執行した

## 亂暴人夫罰金

錦村大字中田宇健塚荷卸人夫石川金太郎(二八)が昨年十月十九日夜植田町料理店五十石久吉さん方で飲酒中勘定のことから五十石と喧嘩を始め、顔面を殴打全治十日間の傷害を負はせた事件は七日平區で罰金二十圓に處せられた

## 八方散

飲んで腫物の妙薬 水野藥局 平市・電六九九

## 三井タクシ

平市二丁目 電六八五番

元日の午後一時から班長矢吹三とさん宅に集合、約三時間に亘つて大繩をなひ、この賣上げ金五圓二十五錢を七日國防献金した

この間皇軍將兵は北支に中支に南支に百戰百勝、到る所に戰果を収められた忠勇なる皇軍將兵各位の功績と國民の熱誠な戦後の譲りとに感謝の涙が流れる、この偉大なる戦果を思ふにつけても戦勝のため喜んで御國のため犠牲となられた英霊に對して深甚なる感謝の誠を捧げ平市民を代表してビールやサイダーを撒きちらして一行は城内に引上げた

二十七日 愈々〇〇方面に出発することになった、正月元旦には目的の第一線に乗り込む等であらう

十二月二十七日南京國華ホテルにて 中島 湖州

### 一日一言

野澤 武藏

#### 平消防記念の出初式

平消防組の出初式は恒例に依り、昨やう表彰旗を保持する平消防組が、六日午前七時半集合、寒天を改組することは、些か寂寥烈風を衝いて厳肅に舉行された。

明治二十七年五月、勅令に依り、現在の義務消防組が結成されて以来、三十有六年を閉みしれた歴史ある消防組も、戦時体制下の銃後國防を強化するため、時局に即應々今年内に大改組を行ひ、防護團を包含して名も「警防團」と更生することに内定、現消防組にとつて、六日の出初式は名残りの盛典であつた。

消防組の名稱が「警防團」と更められても、實は消防組であつて、火災時に於ける消防機能には何等變化を見ない譯であるから、形態を變へても出初式は従前通り行ひ得るものと思ふが、この記念すべき最終出初式に、時局を反映せしめ、單なる水勢試験に代へ、防護團、家庭防空隊の参加を求めて聯合防空演習を行つたことは、時宜に過ぎた試みであつて、消防組幹部に敬意を拂ふものである。聞くところによると今年の出初式に防護團や家庭防空隊との聯合演習を行つたのは平消防組を以つて嚆矢とし、改組される警防團の前提として、その統合振りが注目され、この演習を參觀に來た警防部からわざわざ「警防部長が出張、参加者一同の高潔な演習振りに感嘆してゐた、烈風寒天を冒し、モンベ姿も凛々しく家庭防空隊多数の参加を見たことも、銃後市民にとつて力強い限りである。

戦勝二年目を迎へ、榮耀に

#### 謹賀新年

保證 責任 **四倉信用購買利用組合**

組合長理事 門馬倉次郎  
専務理事 長谷川儀平

大浦助役 **渡邊周平**  
消防組頭

銘「福美」**四家酒店**  
四倉町仲町 電話一四五番

#### 先づ健康!

指壓療法と電気治療

巡回治療もいたします  
申込次第出張いたします

四倉驛前仲町七二  
**指壓電気治療所**  
渡邊 虎太郎

#### 御婚禮御着附

和洋結髪  
オゾン美顔術  
御染髮洗毛術

平市驛前  
**水野化粧院**  
電話一六七八(營業所)  
五二五(自宅)

#### 二百年の歴史を有する

家傳靈藥 **消食散**  
相馬ハンサキ

丸龜商店  
平市大町 電話一三三番



心科 天好 平市三

#### 蓄膿切根 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あると雖他藥の及ばざる良藥で、左の病症の方は一時も早く服用され快癒されん事をお奨め致します

著燥症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。

快鼻湯 製造元 **水野藥局**  
責任製劑者 藥劑師 水野清一  
平市三丁目 電話六九九番

#### 最新流行の 下駄と草履

ドコロモ安い **三井履物店**  
平南町 電話一八二番

酒は……松竹梅より

お酒のあとに名代おけさめし

味の郷  
平市三田小路

認公 **上原家政婦會**  
平市紺屋町十一  
會主 產婆 **上原通子**  
產婆看護婦有資格者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

#### 耳鼻咽喉科

醫學博士 **高柳博明**  
平市驛前(電話三三六)

#### 耳鼻咽喉科

入院自炊の便あり  
**大和田醫院**  
平市南町(電話一〇七番)

#### 觀光石城案内

石城地方旅行者のガイドブック  
石城觀光會發行・定價十五錢  
マルトモ書店發賣

謹啓 六男忠一儀二十一才豫而病氣中の處養生不相叶舊臘廿九日午後三時四十七分死去仕候に付此段本紙を以て御通知に代へ申候

追而葬儀は來る八日午後二時自宅出棺自性院に於て佛式により執行仕可尙ほ時局柄花輪御供物等一切御辭退申上候

昭和十四年一月六日  
小名濱町 **小野晋平**